

平成26年度 第3回 品川区子ども・子育て会議
(品川区次世代育成支援対策推進協議会)
議事概要

日 時：平成26年10月16日（木）14:00～

場 所：品川区役所議会棟 6F 第一委員会室

1. 開会

■会長

- ・「平成26年度 第3回 品川区子ども・子育て会議（品川区次世代育成支援対策推進協議会）」を開催する。本日の委員の出欠について、事務局からの報告をお願いする。

■事務局

- ・出席の人数14名で定足数を満たしている。傍聴者は6名である。

■会長

- ・議事に入る前に、第2回の議事概要について、事務局から確認の依頼をいただいたが訂正なしと聞いている。現時点で訂正があれば、手を挙げていただきたい。

(委員から意見なし)

- ・それでは第2回の議事概要をホームページに掲載させていただく。

2. 議事

■会長

- ・「（1）品川区子ども・子育て計画（素案）の策定について」ということで、前回ほぼ全員からご意見をいただいた。それを踏まえ、新たに「品川区子ども・子育て計画（素案）」が出されているため、本日審議をしていただく。

*事務局より資料1「品川区子ども・子育て計画(素案)」について説明

■会長

- ・具体的な文言で、今後こういうふうに取り組むとか、柔軟にニーズに対応していくといったことが、しっかり書かれている部分が色々見受けられる。本計画については、今、出ている施設整備や事業の数だけにこだわらず、区の姿勢がしっかり読み取れて、区民に対する約束として、今後、動いていくものである。
- ・本日は、全体の素案について意見をいただきたい。区の予定としては、11月1日からパブリックコメントにかけるため、正副会長と事務局とで、最終的な詰めはさせていただきたい。

- ・「品川区子ども・子育て計画（素案）」について意見をいただくが、全体のボリュームがあるので、できるだけページを区切りながら進めていきたい。
- ・初めは第1章および第2章を含めて、1ページから4ページのところでご意見をお願いしたい。

（委員から意見なし）

- ・言葉の修正について、3ページの下から3行目の一番最後に「さらなる」という言葉が出てきている。「さらなる」というのは、文法的に誤りがあるということで「一層の」とか「より一層の」に言いかえてきているので、「一層の」とか、何かに変えたほうがいいのではないかと。ただし、新聞でも使われており、またNHKでも「さらなる」という言葉をアナウンサーが発しているのでも、文法的に誤りというより、既に定着してしまっている言葉かもしれない。この表現は区で判断いただきたいと思う。
- ・1ページから4ページまでは、この通りでよいか。

（委員から意見なし）

- ・次に第3章として、10ページまで、人口と出生の現状、子育て支援の現状などのデータや図表についての説明だが、特に問題はないと思う。この通りでよいか。

（委員から意見なし）

- ・次に第4章について、11ページから32ページまでであるので、この範囲内で意見等をいただきたい。14ページのA3の表の一番上、施策の方向性の「1）生きる力を育む幼児からの教育の推進」の右側「具体的な取り組み」の中で「就学前乳幼児教育の充実」だが、乳児というと、0歳を指すわけだが、0歳に関しても、このような言葉を使うべきなのかどうか。むしろ乳児は取ってしまっていて、幼児教育でいいのではないかという点がある。
- ・もう一つ、保育園、幼稚園における特別支援教育について、いわゆる特別支援学校の幼稚部については、明らかに特別支援教育である。例えばろう学校の場合だと、0歳から聴力検査することが決められているので、早くから支援が始まるし、通園部門を持っている。そこは明らかに特別支援教育だと思うが、一般の幼稚園、保育園で、特に保育園の場合、特別支援教育という言葉は使わないと思う。統合保育とか、障害児保育という言葉を使ってきたと思う。この辺りの表現は、もう一度、再確認をしていただきたい。

■保育課長

- ・品川区では、0歳児から就学前までの子どもの保育・教育を一環として捉えている。それぞれの年齢の発達段階に応じ、かかわりを持っていくことを、広い意味で乳幼児教育として記載している。ここでいう教育は、就学前に学校の教育を先取りするということ

ではなく、日常生活の中で、遊びや環境とのかかわりの中で、必要な知識・経験を得ていただくという広い意味合いで、使っている。今後も乳幼児が一人ひとりのよさを伸ばし、可能性を伸ばしていけるように、援助していきたいという思いを込めている。

- ・特別支援教育について、今、園では、特に発達に障害を持つ子どもたちが、一定程度増えている。子どもたちの教育の可能性を伸ばして、自立して生活していく力の基礎を、一人ひとりに応じて適切に伸ばしていきたいという気持ちを込めて、ここで特別支援教育という言葉を使っており、学校の教育という意味合いとは違うが、広い意味で、使わせていただいている。

■委員

- ・私立幼稚園では、特別支援教育という言葉、4～5年前から使っている。

■委員

- ・『しっかり学ぶしながわっこ』などのテキストで、新人職員が入ってきたときに、あるいは毎年園内向け研修でしっかりやってきている。0歳児からも教育の分野に入るということを教えているので、この表現でいいと思う。

■会長

- ・それでは原案どおりでいきたいと思う。
- ・第4章については、パブリックコメントのために公開するが、その中で御理解いただき、いろいろ意見を頂戴するものに仕上がっているかどうか、もう一回、委員の皆さんに点検していただきたい。
- ・13ページは、保育士等の人材確保・人材育成が新たに入っている。この部分についても、付随して意見があれば頂きたい。

■委員

- ・例えば、100%を目指している事業がたくさんあると思う。ただ、そこに達しなかったときに、どういう対処を考えているのかということは、どの部分でも感じる。その辺の対処がこの中で見えてこない。

■会長

- ・具体的に何か事例を挙げていただきたい。

■委員

- ・例えば16ページ「②乳幼児の各種健康診査（保健センター）」で、かなり健診率は高いが、100%ではない。100%にならない、あるいはなれなかった場合がある。全員が受診していると思うが、その辺りが見えない。

■会長

- ・児童虐待に関しても、基本的には一番最初に発見をする立場にあるのは、母子保健の分野である。ポピュレーションアプローチという、全体をカバーするような健康診査等については、100%来ていただけると一番ありがたいが、そのようにならない。来ない人が、結果的に虐待等に結び付くということもある。
- ・方策等について、区の考えがあれば答えていただきたい。

■品川保健センター所長

- ・大変受診率が高いが、3歳になると、幼稚園、保育園等で健診を受けている場合も多くなるので、それでいいと判断される保護者の方もたくさんいる。
- ・しかしながら未受診は虐待のリスクではありますので、理由については、把握するように努めている。

■委員

- ・訪問できない場合には、そのフォローとして児童センターの職員と児童委員の方が訪問に行くとなっているが、最後の詰めのところまでフォローが見えるようにしていただきたい。

■会長

- ・この中の表現では、きめ細やかな、切れ目のないサービスが重要ですと書いてあるが、そこから先のところまでは、表現ができていない部分がある。支援を充実しますという決意表明はきちんと書かれている。

■子育て支援課長

- ・すくすく赤ちゃん訪問については、47ページにあり、こちらは子ども・子育て支援事業計画の対象事業となっている。
- ・虐待防止という意味合いでは、乳児健診で、全く対応等がないご家庭に対しては、児童福祉法に定め、要保護児童対策地域協議会としてのかかわりということで、確認するような仕組みはとっている。

■会長

- ・乳児家庭全戸訪問事業についての100%は、現実には非常に厳しいという記載がある。

■委員

- ・小学生の母としての意見だが、施設に関しては、ハード面で充実していて、魅力的だが、例えば、自分の子どもは、施設分離型に通っている。ここも魅力的なので、施設分離型の小中一貫教育の充実をぜひとも前向きにしていきたい。品川区というと、小中一貫校というイメージがすごく強いので、こちらもサポートをお願いしたい。

■委員

- ・14ページの基本目標③の「3) 子どもと共に歩む親の育ちの促進」の計画内容のところに、父親の子育て参加促進事業の充実とある。我が家では、子育てに祖父、祖母、夫も関わっている。ここを父親と限定してしまうと、逆に事業に参加する方が狭められてしまうような気がしたので、少し幅を持たせてほしい。
- ・母の世代と私では子育ての内容が、以前は当たり前に行っていたことが今は違っていることがある。そういうものを事業を通して考えてもらい、父親に限らず、いろんな方が参加できるのではないかな。

■委員

- ・この基本計画をもとに、随時、数などを変更していくというのは、分かっているが、この計画書だけを見ると、それが分かりづらいので、その辺は明記したほうがいいのか。

■子育て支援課長

- ・親育ちサポート事業の充実では、母親に対する親育ち支援に加えて、次世代の小中高校生に対する事業と、父親に対する事業で、どちらも充実をしていくよう、取り組んでいる。父親というのは、あえてここだけ出しているが、多くは母親に対する親育ち、子育て支援事業なので、父親の育児参加というか、育児へのかかわりを強めていく、深めていくことで、子どもを健やかに育てていく家庭をつくっていきたいという意図である。
- ・今の段階では、家庭の中における祖父母の育児への支援という視点は、入っていない。シニア層の方については、ボランティアという形で、社会にかかわっていただきたいということで、13ページの「2）在宅子育てへの支援充実」の一番下の「地域の子育て人材の育成と活用」「子育て支援ボランティア等の育成」ということで、悠々ボランティアの充実ということで、シニア世代の方たちに、子育て支援への参加を促している。

■事務局

- ・柔軟な運用については、子ども・子育て計画の60ページ「第6章 計画の推進」について「2 進捗状況の管理」で、本計画は進捗状況とともに、成果を点検・評価することが、大切なものだということが、十分認識している。子ども・子育て支援事業計画についても、次世代育成支援対策推進行動計画についても「柔軟で」という言葉を使っているが、連携しながら、柔軟で総合的な取り組みが必要である。各年度で見直すということは、これまでも約束していて、「柔軟で総合的な」というところは、もう少し工夫して、表現をするように、検討させていただきたい。

■委員

- ・保育園の送り迎え、夕方からのカリキュラムへの参加は、おじいちゃん、おばあちゃんがほとんど来る。できれば「祖父母や家族の支援もいただきながら」という言葉をどこかに入れていただけるように、希望する。

■委員

- ・行動計画の中では、12ページの一番最後に、第3次行動計画における重点事項について記載されている。私たちはずっと見ながら進めてきたので、重点事業だけが載っていると分かるし、色分けの意味も分かるが、二十数ページ進んでいく中で、そこがなくなっただまになっている。
- ・例えば26ページの③だと、一番最初にキャリアアップ、職業訓練や職業体験の機会の提供とありながらも、27ページでは若年者層への説明になってしまい、初めてこれを見る場合、第1次計画と合わせ読めば、全ての事業の内容が分かるかと思うが、事業の概要については、色分けされている。数値目標が必要な重点施策について表記されているので、これに合わせて色分けをして、それ以外はここを見てくださいという記載になっている。重点施策ではない事業の概要についても、一般の人が見るときに、これはどこに書いているのかわからないということになる。
- ・重点施策以外の全ての事業の概要について、内容をどこに書いていくか、もしくは1つずつ載せてしまうとか、そういうことがあるといいと思う。

■青少年育成課長

・例えば26ページは基本目標③となっている。「1) 自立した生活や就労に向けた支援」とあるが、その次はキャリアアップ、職業訓練や職業体験の機会の提供で終わっているが、この下に、例えば14ページにある全体計画とか、計画内容を再掲するような形で、この下にも事業があるということが、表を見なくても分かるように記載をするという形で、対応したい。

■会長

・第5章、第6章のところで、意見があれば頂きたい。

■委員

- ・39ページ、子育て支援員制度について、検討しますということになっているが、現在、保育ママというのは、一定の研修を受けている。保育士の資格がない人もなっている。検討しますではなくて、もう少し積極的な言葉があればと、要求しておく。
- ・2番目は43ページ、放課後児童健全育成事業、いわゆる品川区で実施しているすまいるスクールのことである。他区に先駆けて行った制度だと思う。
- ・毎年、相談を受けるのが、6時以降どうしたらいいのだろうか。有料制度でもいいから、区がもう少し積極的に、何らかの形で前向きに検討できればと思う。1年経つと、鍵を開けて、家に入って、カルチャーに行ったりできる。1年生が、あるレストランと契約して、ママが帰ってくるまで、レストランの端を借りて勉強していなさいとか対応している。それを聞き分けられる子どもはいいが、できない子どももいる。この点について、検討をお願いしたい。
- ・53ページの一時預かりの件では、オアシスについては、表のもの以外は、拡大について、この会議の中でも出ていたが、地域バランスで、もう少し量を拡大してもらえないかという意見が出た。
- ・認可外施設については、東京都の認可を受けて、認可外施設を運用しているということだが、私どもの現場で毎回聞かれるのは、10月から3月までの間に育休が明けてしまって、預けどころがない。そういう方がどこへ行こうかということで、かなり苦労している。保育の量の拡大を図り、100%に近い数字を新しい計画では載せているが、時期の問題はある。他県でしたか、他区でしたか、就労をされていて、認可あるいは認証とか、施設に預けられなくて、育休明けを迎えてしまった人たちのために、一時預かりで場所を用意しているところがあるようなので、検討してはいかがか。

■会長

・今の問題は、重要な部分を4点挙げていただき、事務局から先にお答えをいただいた上で、関連質問があれば、頂戴したい。

■事務局

・子育て支援員については、どこの部分に記載しようか、悩んだところである。現在、家庭的保育事業については、東京都の認定ママの研修を受けていただいている。国のイメージでは、これまでどおり、そのような預かり事業のものは、認定ママ研修ではなくて、子育て支援の研修に総括的にシフトすることを考えているので、預かりのほうは、この研修が従事職員の要件となる予定である。

- ・ただし、放課後児童クラブなどを展開する場合には、必ずしも従事要件ではない。ここでは、地域子ども・子育て支援事業の中での記載で、検討しますという書き方をしたので、表現については、改めて確認させていただく。
- ・認可外保育施設の一時預かり的な事業について、年度途中の入園が大変厳しいというのは、話のとおりであるが、育児休業明け入園予約制度というものがあり、0歳児、1歳児の枠の中には、産休明けからすぐに入園をしていただけるように、出産前から予約をするという制度になっている。
- ・今の委員の指摘は、それでも入れない方のために、新しい工夫があるのではないかとという指摘なので、改めて検討する。

■子育て支援課長

- ・すまいるスクールについては、学校の中で、放課後児童クラブと放課後子供教室を一体的に運営していくということで、国の放課後総合子どもプランに先駆けて、実施をしている。
- ・終了時間については、従前の学童時間の終了時間の6時ということで、これまでもやってきている。学校の終了が5時ということで、1時間延長して6時という考え方である。
- ・小学校1年生になったら、1人で鍵を開けて、1人で留守番をしていけるよう成長・発達であってほしいというところもある。ただ、昨今、社会的な不安な事件が起きていることもあって、要望が増えてきている。合わせて学校の中にある施設をどのように考えていくかということも含めて、総合的に検討していく。ただ、計画の中には、現状の量の拡大ということで、載せさせていただく。

■保育課長

- ・生活支援型一時保育、オアシス部分については、前回の議論では、現在の8カ所を維持するために、利用方法等に工夫の余地があるという指摘をいただいております。今後、利用しやすく、安全、効率的な施設運営を目指して、指摘の内容を踏まえて、現在、検討している。

■委員

- ・品川区の保育支援の現在の状況は、とても充実していて、私の時代と違う。
- ・子育てをしながら事業を起こしたが、その時に困ったのは、保育園や学校が終わった後にどうやって子供に生活をさせるかである。管理職や経営者になると通常の8時間の労働時間ではなくなる。私の場合は子供の為にヘルパーを雇い入れていたが、ヘルパーによってはおやつを与えすぎたり、テレビを見せすぎたり教育や養育が出来ない人もおりその度ごとにヘルパーを代えていた。
- ・女性の管理職を増やせと言うなら、子供に一番負担の無い様なシステムを考える必要がある。子育てヘルパーの資格を作って頂き、家庭養育の為にヘルパーを派遣する制度をお願いしたい。子育てが終わった世代やミドル、シルバー世代が資格取得をしてヘルパーの仕事についてくだされば雇用も生まれると考える。

■事務局

- ・女性の活躍推進の中で、国においても、来年度以降、子育て支援員制度の制度化を急いでいる。実際に子育てが一段落した専業主婦などの方のいろんな場での活躍には、育児経験プラス一定の研修が必要だというのは、皆さん同じ認識だと思う。一定の研修を受けた方の活躍の場も含めて、改めて検討していく。

■委員

- ・小学校1年のすまいるスクールの時間がちょっと短いとか、サポートが必要な子どもたち、小学校に上がったときの壁というのが、いくつか話題に挙がった中で、子育て支援員を子ども・子育て支援事業の中で使っていくに当たり、延長保育などだけではなく、すまいるスクールにおいても、研修制度を受けた方が、未就学児理解をした上で、幼保小連携の中で、すまいるスクールも含めた範囲なのかという質問が出ていて、そのような答弁であったと、私は勘違いしていた。

■委員

- ・すまいるスクールについては、他区に先駆けて、区はやってきた。10年経ち、変えるということがある。不可能ではなくて、この10年間の実績が既にあるため、はっきり書いてもいいのではないかと思う。

■会長

- ・検証ができているならば、書き込める部分もあるのではないかということだが、一般的には非常にいい制度だと印象を持つ。
- ・他のところで、比較的狭いところに、閉じ込められているという表現はよくないが、そのような放課後児童クラブなどを見ると、学校を使って伸び伸びと子どもたちが動け、様々なプログラムがあるというのは、子どもにとっても非常にいいことだと感じる。

■子育て支援課長

- ・最初の質問は、子育て支援員が、放課後児童クラブの補助員としての研修を受けた場合仕事ができるという規定になっている。ただ、すまいるスクール、放課後児童クラブについては、今は子どもの遊びを指導する者という基準だが、今度は指導員として資格が必要となっている。その資格を取っている者が、半数以上いる必要があるということである。これは品川区の条例の中で、そのように定めている。
- ・その他の補助者として、どういう方を入れていくかということについては、品川区では、今、放課後の児童指導経験がある方など、一定の条件をつけた方に入っている。
- ・将来的に子育て支援員も補助者として指定していくことは、当然考えられると思っているが、現在はそこまでの枠を決めて考えているものではない。子育て支援員自体がまだはっきりしていないところがあるので、その状況を見ながら考えていきたいと思っている。
- ・次にすまいるスクールに関しては、十分に検証して、分析して、今後についてということまで、まだ至っていない。課題だとは捉えているが、計画に載せるには、時期尚早だと感じている。

■副会長

- ・ 3点ほど、意見と要望がある。
- ・ 39ページからの「3 地域子ども・子育て支援事業」の内訳は、13事業であるので、国の実施等も踏まえて、今後検討とか、そういうふうに表現しておいたほうが、親切だろうと思う。これが1点。
- ・ 60ページ「第6章 計画の推進」関係で、2ページの計画の策定体制と表裏一体をなすものだと思うが、進捗状況の管理についても、子ども・子育て会議が各年度の状況等を踏まえて、委員の皆さん方に意見をいただいて、計画を柔軟に見直すところがあるけれども、管理人の役割もあるということ、どこかで表現しておいていただきたい。
- ・ パブリックコメントに当たっては、計画の中でも多少説明はあるが、整理をして、まとめて、用語説明とか、そういうことをしておいたほうが、親切ではなからうか。一般の方がごらんになると、標準時間と言われてもわからないと思うし、認定こども園の説明も、必ずしもこのペーパーの中では十分ではないと思う。
- ・ 先ほどの子育て支援員も、用語説明になるのか、先ほどの総合プランも参照できる資料はありますか、パブリックコメントをしたときに、一般区民の方が知りたいというときに、手がかりになるような工夫をしていただきたいと思う。

■会長

- ・ すまいるスクールについては先ほど委員から意見があった。事務局からは、課題はあるけれどもここの中に書き込むには、まだ十分整理し切れていないということもあり、表現上はよろしいですか。

■委員

- ・ やっていますという、それだけしか計画に書かれていないので、方向性が見えない気がする。いろいろと話が出ているように、実感として、保育機能は弱いと思っている。その点が見えてくるには、10年間もやってきているわけだから、これからこのようにやっていきますということがあってもいいと感じている。

■会長

- ・ もう少し積極的に書いてもいいのではないかとこの部分。その点は、今日この場でどうということではなくて、パブリックコメント前までの全体の修正の中で、もう少し書き込める部分があるのではないかと、あるいは先ほどの用語の解説であるとか、そういったものを含めて、処理をしていただければと思う。
- ・ 他にこれは言っておきたいということがありましたらお願いしたい。

■委員

- ・ たくさんの事業があり、いろいろな方法を考えていただいていると感じる。総合的に皆さんの意見を聞いて、60ページの最後の進捗状況の管理のところ、点検・評価して施策につなげるというところは、もう少し具体的な方法を示していただけると、いいと思う。例えば民間の機関を使ってとか、利用者の声はアンケートを取るとか、いろいろあると思うが、ここは3行ではなくて、もう少し具体的に出していただくと、わかりやすくなるのではないかと感じる。

■会長

- ・この部分は非常に簡単に書いてあるわけですので、もう少し立体化しながら、あるいは調査などもあるかもしれないが、もう少し書き込める部分は書き込んでほしいという御意見をいただきました。

■委員

- ・この資料も新鮮な視点で見させていただいた。感じた点としては、今回、非常によくまとまっていると思う。基本目標があって、施策があって、役割などがきちんと書かれているが、目標を掲げるに当たっては、課題があって、それを解決するために目標を掲げて、施策を打っていくということが課題というのが、章立ての中からは確認しづらいということが、印象としてあった。

例えば第1章は背景・趣旨があって、第2章は考え方があり、第3章の現状があって、現状を見た結果、こういう課題があった。こういう目標を掲げて、施策を打った。というストーリーだと、初めて読む方、委員以外の一般の方にこれを出していく時に、読みやすいストーリーラインができ上がっていくのではないかと、感じたところである。

■委員

- ・いろいろな内容が固まってくところ、今回、保育士等の人材確保・人材育成という項目ができました。実際に区立幼稚園の幼保一体施設にいて感じたのは、保育園の先生と幼稚園の先生とが、それぞれの制約がある中、連携をして従事して下さっていたことです。
- ・親が仕事をしていくことで、預ける時間帯も、親が今までみていた時間帯を超えての朝早い時間・夜遅い時間がでてくると思うが、実際にそこで働ける方をどうやって探してくるのか。会議が進むに従って、預ける親としては心配になりました。
- ・今朝、先ほどの委員と全く同じ御意見の母親にあいました。迎えに行く時間に間に合わないことが多いため、小学校の1年生だけでいいのですまいるスクールの預かり時間を長くしてほしいと言っていました。
- ・私を含め皆さんよりよい教育・保育を受けさせたいと思っている保護者が多いと思います。働く時間が多様化しているときだからこそ、やはり保育士・幼稚園教諭の方々をどう確保していくのか、そしてその先生方のライフ・ワーク・バランスも確保できるのかと、不安が積み重なっている状況を感じます。日頃、先生方は惜しまず子どもたちの面倒を見てくれているので、やはりよりよい生活を送っていただきたいと思っています。

■委員

- ・品川区は非常に充実した取り組みをしていて、その中で子育てができることは、この会議に出席して改めて実感している。
- ・私が気づいた点、違うのではないかと思う点が3点ある。12ページの上から1つ目の行で「主として妊娠・出産・から」というところで「・」がついているが、これは「・」が要るのか。
- ・32ページ、現在の取り組みの②で挙げられていることで、幟旗と書いてある次の行で、難しい漢字がある。これはのぼり旗かと思ったが、上で書いているのであれば、同じにしたほうが良いと思う。

- ・最後に⑤「家庭の日」輝く笑顔のところ書かれている文章の途中「親子の絆・家庭の教育力の口上」の「こうじょう」。その3つだけ、気づいたので述べさせていただきます。

■会長

- ・三人の方から、かなり基本的な問題と具体的な御指摘等もあったが、全体的な取り組みの部分は、今からというのは非常に難しい部分がある。ただ、人材の確保の問題は、全国的な問題でもあるし、実際に働く御自身のワーク・ライフ・バランスの問題もずっと抱えているわけである。これは品川区だけではなくて、全国的な課題になっている部分があると思う。
- ・課題から入ってという所も、作り方としては、厳密にあるが、難しい部分で今からどうするかということはあると思う。

■事務局

- ・表記のところは、見落としがあり大変申しわけありません。ご指摘ありがとうございます。
- ・課題というところでも、計画策定に当たり、最初と最後は一番読まれる部分だと思うので、もう一度確認する。計画策定の趣旨は、計画の背景を中心に書いたところがある。子育てを巡る環境の変化で生じたこと、待機児童の増加という一般的な書き方をした部分もあるので、品川区における課題認識のところも、もう少しつけ加えられるかどうか、検討させていただきたいと思う。
- ・また、60ページの計画の推進の最後の表現につきまして、特に会長等から、会議の役割につきまして、言及が漏れていた部分がございます。大変申しわけありません。ここの表現については、もう少し具体的なもの、会議のことも含めて、記載をさせていただきますと考えている。

■会長

- ・それでは、皆さんから御意見をいただいて、細かい部分はあったが、特にこの場で、ここの表現をどうか、大きな議論はなかったかと思う。むしろより正確に、あるいは積極的に書き込んだほうが良いといった意見が幾つか出てきている。
- ・計画自体は行政がつくる計画だが、こういった会議を開いた中での意見を尊重しながら、行政計画に反映していくということなので、委員会の役割もわかるように明記していただいた方がよいと思う。
- ・この会議の部分については、パブリックコメントの前に、議事録も再読しながら、正副会長と事務局とで整えたいと思う。了解を皆さんからいただいております。

(「異議なし」と声あり)

■会長

- ・残りの時間に、事務局から今後のスケジュール等について、説明をお願いする。

*事務局より資料2「子ども・子育て支援新制度スケジュール」と参考資料3「子ども・子育て支援新制度パンフレット」について説明

■会長

- ・本日の議題、報告事項を終了する。
- ・次回の第4回、平成27年1月の会議で検討する項目は、パブリックコメントの結果を踏まえて、最終的に東京都に提出する計画について、委員の皆さんの御意見をお聞きしたいと思う。
- ・本日の議事録、議事概要案は、後日、皆様に確認をしていただいた上で、次回の会議の前に、区のウェブサイトで公開したい。了解いただきたい。

3. 閉会